



2月
6日

速野ふるさと紹介のつどい



**速野会館で地域の歴史を
探る講演会**
 速野学区「ふるさとづくり委員会」の主催で「速野木浜村は、伊能忠敬をどのように迎えたか」と題した講演会が行われました。
 木浜にある光照寺の住職由本英成さんを講師に、17年間に約40,000kmを歩き測量した偉業や、光照寺に宿泊した往時の様子などを聞きました。
 ほかに、約4畳分もある琵琶湖の地図も展示されました。

2月
4日

親子で音あそび



**歌や音楽に合わせて
遊んで笑って
親子の絆を深め**
 ほほえみセンターで開催され、未就園児親子20組が参加しました。
 市内在住の北野輝重さんを講師に、リズムに合わせて鈴楽器を演奏したり、参加者が円になってお散歩をして体を動かしたり歌や音楽で遊びながら笑顔いっぱい親子の絆を深めていました。最後にはボールを使った玉入れで、2日遅れの節分の豆まきを楽しんでいました。

2月
10日

河西公民館さわやか学級閉講式



**最終講は観劇
笑顔を見せて
修了証受け取る**
 河西公民館が学区民を対象に主催する「さわやか学級」(今年度は全7回)では、1年間の活動を締めくくるとの閉講式が行われました。
 この日は「寸劇で楽しもう」と題して行われ、参加者らは日本の童話をアレンジした寸劇などの演目に笑顔を見せていました。観劇後の閉講式では、皆出席の受講生が代表で修了証を手渡されました。

2月
6・7日

第18回川づくりフォーラム



**日常の暮らしから
脱プラスチックを
考えよう**
 本年度は「里中河川と赤野井湾」湖底ごみを考える「」をテーマに、認定NPO法人びわこ豊稗の郷と市の共催で開催されました。
 湖底ごみでも多かったペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみをテーマにした基調講演と、脱プラスチックに取り組む市民や漁業関係者、市職員などの活動報告に、参加者らは改めて環境への意識を高めていました。

守山市の人口
 令和3年1月31日現在 (前月比)

人口	84,506	(-)	5)
男	41,675	(±)	0)
女	42,831	(-)	5)
世帯数	33,385	(+)	4)

淀川水系は、滋賀、京都、奈良、三重、大阪、兵庫の2府4県にまたがっている。しかし、気候変動の影響により、水災害が激甚化・頻発化する近年、「水止めたるか」ではなく、協力し合って治水について考えることが今必要とされている。(た)

双眼鏡
 子どもと一緒に春を探しに出かけると近くの川でしゅんせつ工事が行われていた。しゅんせつといえば春節を思い浮かべるが、浚渫と書く。海や河川などに溜まった土砂を取り除くことだ。上流からの堆積土砂を取り除き、河川の流量を確保するために行われる。近年は河川管理者だけでなく、その流域の市民をはじめとする関係者があらゆる手法を使い、流域全体で治水を考える流域治水の取り組みが進められている。▼滋賀の人が京都・大阪の人に「琵琶湖の水止めたるか」と冗談を言うように、琵琶湖をはじめとする